

平成 29 年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

宇部市立厚南中学校 第 2 学年 (141 名)

平成 29 年 5 月 31 日～6 月 2 日 実施

1 活動のねらい

- 民泊学習を通して、豊かな人間性や社会性を身に付ける一助とする。
- 山村・農村ならではの自然や体験学習、さらに、地域の人々とのふれあいを通して、働くことの意義や将来の生き方について考えさせる。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：長門市俵山】

	期 間	活動の内容	単位時間数
事前指導	5 月 9 日～ 5 月 29 日	○自己紹介カード記入 ○民泊班編制及び健康調査記入 ○マナーや集団行動についての指導 ○しおり作り ○現地 N P O 法人を招いて民泊についての事前説明 ○事前アンケート記入 ○礼状の書き方	5
実施	5 月 31 日～ 6 月 2 日	○しょうがの植え付け・シャクナゲの花がら摘み ○民泊体験 ○7 地区に分かれての農業体験 (田植え、餅、そば作り、ピザ、パン焼きなど) ○公衆浴場の体験 ○能満寺住職の説法 ○山登りと八十八カ所巡り	18
事後指導	6 月 6 日	○お礼状作成 ○民泊レポート作成	3

3 活動の展開

5 月 31 日 (水)		6 月 1 日 (木)		6 月 2 日 (金)	
8:30	学校出発	6:00	起床	6:00	起床
10:30	長門市俵山到着	7:00	朝食	7:00	朝食
11:00	入村式	8:00	体験プログラム② 民泊先別集団体験	8:00	体験プログラム④ 山登り及び能満寺住職 による説法
13:00	体験プログラム① しょうがの植え付け シャクナゲの花摘み	13:00	体験プログラム③ 午前中に同じ	12:00	昼食
18:00	民泊先との対面式	17:00	民泊先迎え	12:30	川で各自長靴を洗う作業
19:00	民泊先での生活開始	17:30	民泊先での生活		退村式・解散式
22:00	就寝	22:00	就寝	13:30	長門市俵山出発
				14:30	各停留所での流れ
				16:00	解散

4 実施上の留意点

- 民泊先の各地区ごとに教員を割り当てた。
- そばアレルギーなど、アレルギー症状をもつ生徒への対応（未然防止・発症時の対応等）についての打合せを行った。
- 医療機関の場所や対応内容の確認を十分行った。
- 農業体験をする際の安全確保のため、長靴の使用、虫除けスプレーの使用、軍手の使用の徹底を行った。
- 体験学習のしおりに1日の振り返りや活動内容及び感想を書かせた。また、民泊体験終了後、体験内容や感想をA4用紙の新聞にまとめさせ、教室掲示をするとともに、お世話になった民泊先に新聞のコピーと礼状を送った。
- 国語の時間に礼状の書き方を学習し、礼状を書かせた。

5 活動の成果と課題

（1）成果と課題

- 農業体験等、日頃体験することのできない様々なプログラムを体験する中で、お互いに知恵を出し合うなど、協働する場面が多く見られた。そういった活動を通して生徒同士の新しい人間関係が構築される様子があった。
- 宿泊した7地区ごとに工夫を凝らした体験活動が準備され、民泊受入家庭の方との交流も深めることができた。生徒の感想の中にも「人との関わりの大切さを、地域の人達と話をして、お手伝いをしたりすることで感じた」という生徒が多くいた。この度の体験を通して感じることできた他者への思いやりや責任感といったものが、今後行われる職場体験学習での挨拶や対応のし方、人に接する時の礼節などに生かされることと期待している。
- 生徒にとって大変貴重な体験の場を提供していただいたが、思わぬけがや、民泊先ごとに生徒への対応に違いがあるなど、生徒が混乱する場面もあった。

（2）今後の改善点

- 民泊体験に関連しての共通理解等、生徒への接し方や生活上の留意点など、事前の打合せの中で、より一層学校と受入家庭との共通理解を図りたい。



【体験活動の説明会】



【ショウガの植え付け】



【能満寺での説法】



【畑作り】



【山道での移動】